

Q1 私は山の初心者ですが、入会できますか？

山を愛する方でしたらどなたでも入会できます。初心者向けの山登りを始め、山の自然や写真、スケッチなどを楽しむ活動もあります。また、年齢制限もないので、高校生も高齢の方も入会することができます。

Q2 紹介者が必要とありますが、私には日本山岳会に知り合いがいません。

身近に紹介者がいない場合は、お住まいの近くの支部にご連絡いただくか、当会ホームページ「入会について」より「入会申込みアンケート」におこたえください。当会の会員をご紹介しますので、会って日本山岳会の説明を聞いてください。入会希望者には、面会者が紹介者となって入会の手続きなどをご説明します。

Q3 正会員と準会員の違いはなんですか。

準会員は、日本山岳会を知っていただくための、いわばお試しのための入会制度で、在籍期間が3年間に限られます。準会員から正会員に移行することもできます。詳細はホームページをご覧ください。

Q4 会員は会合やイベントなどに必ず参加しなければなりませんか。

会員が義務として参加しなければならない行事や会合はありません。しかし同好会や支部の活動に積極的に参加して、楽しい機会を得たり、山の仲間を作られることをお勧めします。

Q5 私は他の山の会と自然保護団体に入っていますが、大丈夫ですか。

問題ありません。日本山岳会には他の山の会やボランティア活動に参加している会員も多くいます。入会すれば、他の会の知見を活かして、仲間を増やし、更に活動を発展させることも可能になります。

当会の目的^{*1}に賛同いただける方でしたら、会員および準会員として入会することができます。

【入会の手続き】

1. 当会ホームページもしくは本部事務局や各支部に用意されている「入会申込書」に、所定の事項を記入・捺印の上、本部事務局に提出してください。ただし、正会員は2名^{*2}、準会員は1名の紹介が必要です。身近に紹介者がいない場合は、左記FAQのQ2をご覧ください。
2. 「入会申込書」提出後に、入会金・年会費の振込用紙が郵送されますので、お支払いください。
3. 入金確認後、会員証などを送付します。

【入会金・年会費】

《正会員》

- ① 入会金 20,000 円 (26 歳未満は免除)
- ② 年会費 12,000 円^{*3} (26 歳未満は 6,000 円^{*3})
(家族会員：① 入会金 20,000 円 ② 年会費 8,000 円^{*4})

《準会員》

- ① 入会金 5,000 円 (26 歳未満は免除)
- ② 年会費 6,000 円^{*3}

★準会員の入会金と年会費は税制上、日本山岳会への寄附金として扱われるため、確定申告で所得税が控除されます。詳細はお問合せください。

※1=裏面の左下参照

※2=うち1名は、原則として本会役員、支部長またはこれらの経験者である必要があります。

※3=入会年度は、月割りで計算します。

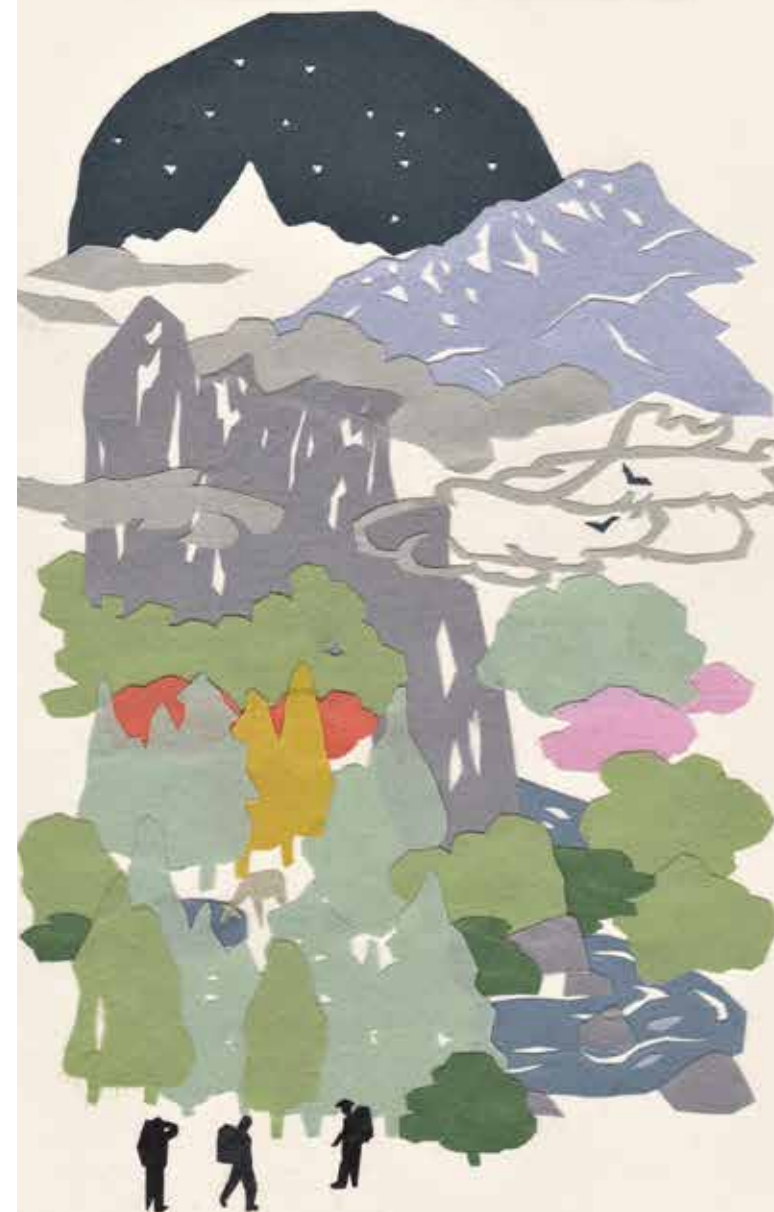
※4=同居の家族が共に正会員の場合、申し出により、会員1名を除くほかの会員が家族会員になります。

■説明会：本部では、2か月に1回、当会の「説明会」を開催し、入会後の活動についてお話ししています。詳細はホームページをご覧ください。

■ご質問：当会に関する質問などがありましたら、最寄りの支部、あるいは本部事務局にお問合せください。

本部 〒102-0081 東京都千代田区四番町 5-4
TEL 03-3261-4433 FAX 03-3261-4441 room@jac.or.jp
*事務取扱時間：月火木 (10~20時)、水金 (13~20時)、
第1・3・5土 (10~18時)
(閉室：第2・4土、日祝、10月14日ほか)

入会のご案内



公益社団法人 日本山岳会



←入会の詳細情報や会員の特典などはこちら
↓日本山岳会についてはこちら
<http://www.jac1.or.jp>



日本山岳会は1905年(明治38年)に創立されました。

日本で最も歴史ある山岳会として、また日本を代表する国際的なアルパインクラブとして、海外登山での活躍のみならず、きわめて多岐にわたる学術研究や文化事業をおこない、

登山界の発展に寄与してきました。

近年は公益社団法人として、

社会貢献活動になお一層力を尽くしています。

現在、全国に約4800名の会員があり、豊かなクラブライフを営んでいます。

わたしたちとともに活動し、

生涯にわたる友として

楽しんでいただける方を、

会員としてお迎えいたします。

クラブライフを楽しもう 登る。

日本山岳会は山好きが集まる趣味の会です。会員は、各自の技術や体力、あるいは興味に応じて、さまざまな山登りを楽しんでいます。国内外の高みをめざすだけではなく、縦走登山や雪山登山、岩稜登攀、あるいは里山ハイクや沢登り、山スキー、植物観察、スケッチ山行、撮影山行、山旅などなど幅広い山行をおこない、仲間とのふれあいをとおした豊かなクラブライフを送っています。



生涯にわたって山登りを楽しむために、本部や支部には山行委員会や同好会などが作られ、グループごとに山を楽しんでいます。また山岳事故を減らすためさまざまな活動がなされ、専用の山岳保険も用意されています。



安全で楽しい山登りを 学ぶ。

日本山岳会に在籍する専門知識や経験を備えた会員のもとで、山に安全に楽しく登るための講習会や登山教室などが開かれています。読図講習や気象講習、医療講習、セルフレスキュー、テント講習から雪上訓練、クライミング技術の訓練など、多岐にわたる機会が設けられています。

また、重要な登山では登山報告会や講演会などがおこなわれ、過去の貴重な登山記録や報告書なども保管されており、自由に閲覧することができます。

山登りだけではなく、動植物や地質、あるいは自然保護や歴史、民俗、信仰など、山に関する幅広い分野にわたって、会や会員による勉強会や調査研究がおこなわれ、シンポジウムや講演会、読書会も開かれています。幅広く山の文化を学ぶことができます。



人、社会、地球のために 貢献する。

公益法人として日本山岳会は多くの公益活動をおこなっています。

海外での登山活動を助成する「海外登山助成」、山に関する活動や業績を表彰す



る「秩父宮記念山岳賞」、「山の日」をとおして山を考えてもらうための活動、家族登山の普及活動など。また自然保護の活動も活発で、森林再生事業をはじめとして野生動物による食害や開発による環境変化などの諸問題に取り組んでいます。

さらに支部においては、障がい者登山や親子登山教室、登山道整備、清掃登山などをおこない、公共団体などとも協力してイベントを主催あるいはサポートしています。



日本山岳会の目的(定款第3条)

本会は、山岳に関する研究並びに知識の普及及び健全な登山指導、奨励をなし、あわせて会員相互の連絡懇親をはかるとともに、登山を通じてあまねく体育、文化及び自然愛護の精神の高揚をはかることを目的とする。



【本部・図書室】

本部は東京・JR市ヶ谷駅から徒歩で近い地にあり、会議室のほか図書室が併設されています。海外の山岳書や地図類、登山報告書などをはじめとして、国内外の和書約13,000冊、洋書約4,000冊を所蔵する山岳専門図書室です。



【上高地山岳研究所】

わが国の山岳景勝地を代表する上高地に、宿泊施設をもつた山岳研究所があります。シーズン中(4月下旬~11月上旬)は、会員および会員の紹介者どなたでも低料金で利用することができます。

【会報・機関誌】

正会員には会報「山」(月刊)と「山岳」(年刊)が送られます。また、山小屋割引などの特典も増えています。



北海道支部
青森支部
岩手支部
宮城支部
秋田支部
山形支部
福島支部
茨城支部
栃木支部
群馬支部
埼玉支部
千葉支部
東京多摩支部
神奈川支部

越後支部
富山支部
石川支部
福井支部
山梨支部
信濃支部



岐阜支部
静岡支部
東海支部
京都・滋賀支部
関西支部
山陰支部
広島支部
四国支部
福岡支部
北九州支部
熊本支部
東九州支部
宮崎支部

・【全国にある33の支部】